

令和4年度 野田市文化会館及び野田市生涯学習センター  
指定管理者管理運営状況調書

担当課 生涯学習課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①平等利用確保への取組	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①サービス向上への取組	B	B	文化会館は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場となる。 （4月から9月まで）
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護への取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されているか	①緊急時の危機管理への取組	B	B	
	②要望、苦情への取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際し、地元業者へ配慮すること	①地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組状況	B	B	

## 総合所見

施設の効用の面では、文化会館は、市民の福祉の向上に寄与するため、令和3年7月から令和4年9月末まで新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種会場として利用されていた。

また、生涯学習センターにおいては、文化会館の利用予約をしていた方々の移転会場となったことから、小ホールの施設利用が前年度に比べ増加した。

このようなことから、文化会館での文化・芸術利用が上半期は皆無であり、設置目的の一つである文化の向上に寄与しているとは考えにくいものとなっていた。しかし、下半期の貸館再開に向け、多方面に声掛けを行い、お笑いライブの公演や保育園、中学、高校及び大学生の音楽発表会での利用予約を取り付けるなど努力が感じ取れる。

施設管理面では、文化会館、生涯学習センター共に円滑な施設管理が図られた。法定点検、保守点検もほぼ問題なく施設管理業務が行われており、指定管理業務仕様書の要求水準を満たしているものと考えられる。

施設の老朽化により、設備や機器の故障が頻発しているが、職員の応急対応や緊急修繕を行うなど来館者へのサービス低下を防ぐ措置は的確に行われている。

また、令和4年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種会場となったことから、市民の感染防止及び安心を図るため、文化会館及び生涯学習センター小ホールの観客席などに抗菌シールドを施すなど、安全安心を提供する丁寧な対応ができたものと思われる。

また、災害時等における職員間の緊急連絡体制も徹底されており、緊急時対応もスムーズに行うことができている。

令和4年度は大きな災害等はなかったが、8月の強風時には台風災害と同様の被害が出ることを想定し、適切な準備体制を整えていたことは評価できる。今後も文化会館と生涯学習センターが互いに連携を図り、効率良く、高水準な施設管理を目指してもらいたい。

事業面では、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種会場となっていたことから、いつ再開できるか不透明であったため、文化会館委託文化事業の計画がなされていなかったが、下半期の再開が決定されると同時に、「よしもお笑いライブ」、「宝くじ文化公演」、「ミュージックフェスタ2023」の公演実施の計画を進め、市民に良質な文化芸術を提供することとしている。

今後、コロナ対策を施した上で、できる範囲で事業を開催し、今後も収支バランスを保ちつつ、良質な公演の提供、若者の動員、地元アーティストの発掘や支援に努めてもらいたい。

また、生涯学習センターにおいても、自主事業、各種講座やイベントについても多くを計画し、新型コロナウイルス感染症対策を施し実施している。文化会館とは違い、公民館と同様に多くの講座を開設し市民の趣味教養を向上させるため、引き続き積極的に事業を展開してもらいたい。

最後に指定管理者の経営状況であるが、野田市文化会館・樺のホール活性化共同体を構成する3社、アクティオ株式会社、新生ビルテクノ株式会社、株式会社シグマコミュニケーションズの経営状況については、各社の令和4年における貸借対照表、損益計算書等により経営が安定しているものと評価する。

全体的には事業計画書に沿って管理運営がなされており、今後も事業収入の健全化、施設利用件数の増加を目指し、文化会館、生涯学習センターの連携を密にし、さらなるサービス向上に努めてもらいたい。